

[様式1]

令和3年度 部局経営方針

部局名	商工観光部	部局長名	長友 正博		
部局の経営資源	職員数 (人)	当初予算額 (千円)		令和3年度中に策定予定の計画 (根拠法令等)	
	正職員	19	一般会計	日向市観光戦略	
	再任用職員	2	特別会計		989,211
			前年度繰越額(千円)		0
	会計年度任用職員	2	一般会計		
			特別会計		
任期付職	0				
総合計画に基づく部局の経営戦略	<p>1. 商工部門</p> <p>【基本姿勢】 商工観光部は、「新たな挑戦で活力ある産業が育ち、元気な人が集うまち」づくりに向けて、地域経済の振興とにぎわい創出のための各種施策に取り組みます。 「日向市中小企業振興条例」や「細島港を核としたグランドデザイン」などの各種計画に基づき、関係機関と連携しながら、産業の集積や中小企業の振興、雇用の創出、人材育成等の施策を実施し、重点戦略に掲げる「若者と女性に選ばれるまち“日向”」の実現を目指します。</p> <p>【総合計画・基本理念】 総合計画に掲げる「人権尊重」「市民協働」「地域力活用」の基本理念に基づき、以下の事業に取り組むことで、「海・山・人がつながり 笑顔で暮らせる 元気なまち」の実現を目指します。</p> <p>(1) 重要港湾・細島港の物流機能の強化・効率化や新たな定期航路の誘致などに取り組み、物流拠点を核とした産業振興を目指します。</p> <p>(2) 港を活用した地域のにぎわいづくりのために、魅力ある親水空間の創出に向けた取組を行います。</p> <p>(3) サーフィンなどの日向市の魅力を生かしたワーケーションなどの取組を通じ、本市の関係人口の増加と企業誘致の実現を目指します。</p> <p>(4) 優良で魅力的な企業立地の促進及び地元企業の成長、発展により、多様な職業、就業が選択できる環境づくりを推進します。 また、企業が必要とする人材を確保するために、都市部からのU I Jターンの促進や質の高い人材の育成に取り組みます。</p> <p>(5) 企業の人材育成の支援や経営力の強化を図ります。</p> <p>(6) 日向市産業支援センターによる継続的な支援により、中小企業等の「強み」を生かした売上の向上を図るとともに、起業家育成にも取り組みます。</p>				

【総合計画・基本目標】

総合計画に掲げる以下の基本目標の実現に向け、それぞれの施策を展開します。

(1) 産業振興：「新たな挑戦で活力ある産業が育ち、元気な人が集うまち」

- 異業種間のマッチングによる販路拡大や新分野への進出を支援し、人材育成や新規雇用の創出に取り組みます。(3-4)
- 創業や新分野への進出を促進するために、事業に必要な知識や技能を習得する研修会の開催などを支援します。(3-4)
- 企業が必要とする人材を供給していくために、都市部からのU I Jターンを促進するとともに、質の高い人材を育成します。(3-4)
- 地場産品事業者の振興のため、物産展の開催や新商品開発、販路拡大に向けた支援を図ります。(3-4)
- 日向ひとものづくりセンターなどと連携し、ものづくり技術の向上や若手技術者の育成、第2次産業の雇用の確保などに取り組みます。(3-5)
- 多様な人材が働ける場所を確保するため、関係機関との連携を強化し、企業への啓発活動や相談支援体制の充実を図ります。(3-5)
- 雇用機会の創出を図るため、セミナーや就職説明会を開催するなど、移住(U I Jターン)を促進し、就業人口の拡充に努めます。(3-5)
- 細島4区工業団地への企業誘致に取り組むとともに、新たな工業用地の確保に努めます。(3-6)
- 多様な企業の誘致を進めるために、企業ニーズに対応した支援策の構築に努めます。(3-6)

(2) 社会基盤：「快適で魅力ある機能的な住みやすいまち」

- 「細島港港湾計画」の着実な実行について、国や県に働きかけます。(5-5)
- 課題に対応した細島港の整備に向けて、関係者や地元との調整などに協力します。(5-5)
- 磯場の自然環境を守るために、ブルーカーボンに関する啓発活動や自然保全活動の促進に取り組みます。(5-5)
- 関係者と連携し、新たな憩いとにぎわいの場となるよう商業港地区の緑地エリアの整備を促進します。(5-5)
- 県外へ流出している貨物や他県からの貨物を細島港に定着させるため、物流体制とポートセールスの強化、貨物集荷に対する支援等を推進します。(5-5)

2. 観光部門**【基本姿勢】**

「新しい日向市観光推進計画」の最終年度にあたる令和2年度においては、世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、国内外への渡航は制限され、インバウンドは消滅し、国内においても緊急事態宣言による外出や移動の自粛が要請されるなど、旅行需要は激減しました。

このような状況のなか、本市においても、GOTOトラベルにあわせ、隣県等に向けた域内観光商品造成や宿泊キャンペーン等の誘客事業に取り組みましたが、結果的に旅行需要や地域経済の回復には遠く及ばず、令和2年度の市内観光入客数等は前年を大きく下回りました。

今後、速やかにワクチンの接種が行われたとしても、発生前の状況に戻るには、しばらくの期間が必要と考えられるため、令和2年度に予定していた新たな計画の策定を一年先延ばしし、令和3年度中に、臨時的に「新しい生活様式」状況下での観光対応、施策を考える「ウィズコロナ期観光戦略」を策定するここととしています。

なお、令和3年度は、「新しい日向市観光推進計画」の基本方針を継承しつつ、第2向日向市総合計画後期基本計画に掲げた具体的な施策や、さらに観光の再生に向けた観光関連事業者の支援やターゲットを捉えた情報発信等に取り組みます。

【総合計画・基本理念】

本市のまちづくりを進める上で尊重されるべき「人権尊重」「市民協働」「地域力活用」の基本理念に基づき、以下の事業に取り組むことで、「海・山・人がつながり 笑顔で暮らせる 元気なまち」の実現を目指します。

【総合計画・基本目標】

3 新たな挑戦で活力のある産業が育ち、元気な人が集うまち

3-7 地域を活性化する観光の振興**(1) 地域資源を生かした観光交流の推進**

- 差別化された観光プロモーションや「新たな生活様式」に対応した観光コンテンツの造成に取り組みます。
- 既存観光資源や伊勢ヶ浜門前まち、細島地区、美々津地区、東郷地区及び中心市街地を生かした周遊型観光を推進します。
- 子供たちの遊び場や市民の憩いの場となる屋外環境を創出するため、日向サンパーク内に大型遊具やドッグラン等を整備します。

(2) 広域観光圏による観光ルートの磨き上げと観光交流の拠点づくり

- インフラツーリズムやサイクルツーリズムなど県や近隣市町村と連携し、広域的な観光事業に取り組みます。
- 観光客の動向を分析し、多様な情報発信ツールを活用した効果的で魅力を感じる情報発信に努めます。

(3) リラックス・サーフタウン日向の推進

- 国内外のサーフィン大会や合宿を誘致し、地域経済の活性化に取り組みます。
- ビーチを楽しむ環境づくりに取り組みます。
- お倉ヶ浜海水浴場駐車場の有料化に取り組みます。

(4) 牧水の生誕地・東郷を生かした魅力づくり

- 牧水公園のふるさとの家の改修や野外キャンプの需要の高まりに合わせた、地域の魅力を情報発信します。

(5) 重要伝統的建造物群保存地区「美々津」を生かした魅力づくり

- 滞在型・体験型観光メニューの造成を支援し、広く情報発信します。

(6) スポーツタウン日向の推進

- プロ野球やJリーグ、社会人、大学生などによるスポーツキャンプ、大会の誘致に取り組みます。

(7) 新たな関係人口の創出

- 旅行者や全国のひょっとこ踊り愛好者、各種イベント参加者、クルーズ客船寄港者など、日向市と関わりをもった方が応援してくれる、再訪してもらえる関係人口の増加に取り組みます。

(8) 観光関連事業者の経営継続に向けた支援

- 新型コロナ感染症により疲弊した市内観光関連業者に関し、経営継続に向けた各種施策の推進を行います。

(9) アフター・コロナ期を見据えた誘客プロモーション等

- 観光消費喚起事業として、「日向ファン拡大プロモーション事業」により、プロモーション動画、ポスター、ノベルティーの制作を行い、総合的なプロモーションを展開するとともに、参加体験型観光イベント「日向ファン拡大推進事業」を実施します。

【行財政改革大綱に基づく行動計画】**○第三セクターの経営健全化**

- (株) 日向サンパーク温泉による経営継続断念により休館中である「温泉館」の施設譲渡による民設民営による再開を目指すとともに、大型遊具等の施設整備による来場者増による経営の健全化を図ります。

○公営企業等の経営健全化

- (株) 東郷町ふるさと公社が指定管理を行う「牧水公園ふるさとの家」他施設について、老朽化した施設の改修を行うとともに、食事処の「牧水庵」を民間に貸し出し、稼働させることで、牧水公園の利用者の増加につなげ、経営の健全化を図ります。

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【商工観光部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	施策の内容	所管課	予算事業名	当初予算 (千円)	予算額のうち 該当事業費 (千円)	現状と課題	R3取組内容	R3上半期	R3下半期
1	1 未来へつなげる人づくり	2 安心して産み育てるみんな子育てプロジェクト	5 女性の活躍推進	3 女性の再就職に向けた支援を行います。	商工港湾課	[新型コロナ対策]就職支援事業	560	560	市内女性の結婚・出産期にあたる世代の就業率が低いことから、育児等が落ち着き再就職を目指す女性の就職活動に対する支援が必要です。	出産や子育て等で再就職を目指している女性を対象にした就職説明会及びセミナーを開催します。	・求職者に対する就職説明会を開催	・地域雇用創造協議会と連携した女性のための再就職応援セミナーを開催
2	2 活力を生み出すにぎわいづくり	1 活力を生み出す「しごとづくり」プロジェクト	1 若者や女性が活躍できる企業誘致の推進	1 国内主要都市での企業立地セミナーを開催します。	商工港湾課	企業誘致推進事業	79,902	238	例年、首都圏等で開催される企業立地セミナーに参加し、企業誘致や販路拡大支援等に取り組んでいますが、令和2年度以降は新型コロナの影響もあり、リモートによるセミナー参加のみの対応となっています。	展示会等を活用した企業誘致や販路拡大支援等に取り組むとともに、アフターコロナに向けての新たな働き方にも対応する企業誘致への対応を検討します。	【通年】 新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、都市圏での企業立地セミナー参加を調整するとともに、状況に応じて、リモートによるセミナー参加を検討します。	
3				2 県外企業などの本社機能移転や地元企業の本社機能拡充などを促進します。	商工港湾課				市外に本社を置く誘致企業等への本社機能移転の提案についても検討していますが、本社機能移転を提案できる企業が少ないため、地元企業の拡充等を重点的に支援しています。	地元企業の本社機能の拡充に取り組むとともに、コロナ禍により地方への移転を検討する企業等に向けて、本社機能移転の提案をしていきます。	【通年】 地元企業の本社機能の拡充に向けた企業からのヒアリングを積極的に進めるとともに、コロナ禍により地方への移転を検討する企業の情報収集に努めます。	
4				3 細島4区工業団地の市有地について、企業立地や地場企業の事業拡大に向けた情報発信に取り組みます。	商工港湾課	企業誘致推進事業	79,902	73,270	H30年度末に購入した細島4区工業団地用地が令和2年度に完売しており、コロナ禍においても多くの問い合わせがある細島工業団地への企業誘致が、民有地へのマッチングのみの対応となっています。	企業訪問や企業立地セミナーへの参加等により、最新の企業ニーズの把握に努めるとともに、都市部からのUIターン促進や優良な人材の育成を通じ、新たな企業の誘致や地元企業の発展・成長を推進します。	【通年】 新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、企業訪問やヒアリング等を通じ、細島工業団地内の民有地等への企業誘致のマッチング及び地場企業の事業拡大に取り組みます。	
5				4 IT事業者などを対象に、空き店舗・空き家を活用した企業誘致に取り組めます。	商工港湾課				若者や女性から求職ニーズが高いIT関連企業を誘致するために適した物件が少ない状況です。	ワーケーションやサテライトオフィス、コワーキングスペースといった新しい働き方に対応する誘致施設への企業誘致に向け、情報収集と企業へのアプローチに取り組めます。また、ワーケーション実証実験に参加する企業、個人への誘致に向けた情報提供等を行います。	【通年】 新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、都市圏での企業立地セミナー参加を調整するとともに、サテライトオフィス誘致に向けた市内の空き店舗等の情報収集を行います。	

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【商工観光部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	施策の内容	所管課	予算事業名	当初予算 (千円)	予算額のうち 該当事業費 (千円)	現状と課題	R3取組内容	R3上半期	R3下半期
6	2 活力を 生み出すに ぎわいづく	1 活力を生み出す「しごと」づくりプロジェクト	1 若者や女性 が活躍できる 企業誘致の推 進	5 IT関連技術者の育成及 び県外からのIT関連従事 者の移住(U/Iターン)を促 進します。	商工港 湾課	企業誘致 推進事業	79,902	73,270	サテライトオフィスの設置が 想定されるIT事業者の企業誘 致についても、コロナ禍によ り在宅勤務のみの形態を取る 企業も増えており、対策を講 じる必要があります。	IT技術者の育成や、高度な 技術を持ったU/Iターン者の確 保に取り組むとともに、その 受け入れ先となる関連企業 の誘致に取り組みます。	【通年】 新型コロナウイルスの状況を見 ながら、都市圏での企業立地 セミナー参加を調整すると ともに、移住セミナー等でも 積極的に情報発信を行います。 さらに、ワーケーション等 を通じて、ITエンジニア等 の人材の移住に向けた情報 提供を行います。	
7			2 強みを生か した新たな産 業の拡大	2 電池産業に対する事業 拡大を支援します。	商工港 湾課				近年の米中貿易摩擦の影響 を受け、自動車関連産業であ る電池産業にも影響が出て いる状況です。一方で、国内 での防災意識の高まりに伴 い、乾電池などの製品につ いては、好調な動きを見 せています。	引き続き、工場の新設や増 設等に対して、企業立地促 進条例に基づく支援をして いきます。	【通年】 企業へのヒアリング等を通 じ、地場企業の事業拡大を 支援します。	
8			2 中小企業、 小規模事業者 への支援	1 「日向市産業支援セン ター」を運営し、中小企業 の抱える様々な悩みや相談 ・課題解決策の提案を行 います。	商工港 湾課	ひむかー Biz運営事 業	28,200	28,067	市内商工業者数が減少する 中、商工業者の経営安定、 新規起業、事業承継等の推 進を図るため、コーディネ ーターを配置し積極的に相 談・支援業務を行う必要 があります。	「日向市産業支援センター」 を運営し、の販路拡大や新 たな分野への進出、若者 や女性の起業を後押しす るため、細やかな経営相 談とフォローアップを行 います。	【通年】 ・定例報告会等連携会議 の開催	
9			2 事業計画、商品開発、資 金調達、販路開拓に至る支 援や起業に関する相談・支 援を行います。	商工港 湾課	ひむかー Biz運営事 業	28,200	133	市内商工業者数が減少する 中、商工業者の販路拡大 や新分野への進出、新規 起業・事業承継を後押し するため、相談・支援業務 を強化する必要があります。	日向地区中小企業支援機 構、日向市産業支援セン ター、日向商工会議所、 東郷町商工会、日本政策 金融公庫等関係機関との 連携を強化し、商工業 者及び起業希望者等の 支援を行います。	【通年】 ・日向地区中小企業支援 機構役員会、創業支援・ 事業承継連携会議、ひ なたイノベーションセン ター等各連携会議の開催		
10			3 産業人材の 確保と誰もが 働けるしごと環 境の充実	1 人材育成セミナーや雇 用拡大セミナーなどを 実施します。	商工港 湾課	日向市地 域雇用創 造協議会 に要する 経費	10,164	1,664	就業率が低下する中、雇 用の確保・創出を図るた め、人材育成セミナーや 雇用拡大セミナー等を積 極的に行う日向市地域 雇用創造協議会の運営 を支援する必要があります。	日向地域雇用創造協議会 を開催するとともに、運 営再開を支援します。	・日向地域雇用創造協 議会を開催 ・日向地域雇用創造協 議会の運営再開準備	・日向地域雇用創造協 議会の運営支援

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【商工観光部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	施策の内容	所管課	予算事業名	当初予算 (千円)	予算額のうち 該当事業費 (千円)	現状と課題	R3取組内容	R3上半期	R3下半期
11	2 活力を生み出すに ぎわいづくり	1 活力を生み出す「しごと」づくりプロジェクト	3 産業人材の確保と誰もが働けるしごと環境の充実	3 地域ナレッジ情報サイトを活用した求人など総合的な情報発信を行います。	商工港湾課	就業支援に要する経費	856	831	就業率が低下する中、就業機会の拡大や移住・定住の促進を図るため、就職に関する総合的な情報提供を行う必要があります。	既存の就職情報ポータルサイトを統合し、就職や福祉、くらしの情報等の充実・一元化を図り、情報発信の強化に努めます。	・「ひゅうがJOBナビ」と「一くる」(閉鎖)の統合 ・「ひゅうがJOBナビ」への求人情報、企業情報等の掲載、内容充実	・「ひゅうがJOBナビ」を通し求人情報、企業情報等の提供
12			3 産業人材の確保と誰もが働けるしごと環境の充実	4 高校生・大学生、都市部の地元出身者などを対象とした就職説明会を開催します。	商工港湾課	就業支援に要する経費	856	25	地元高校生の市内就職率が低い等若者の人口流出が危惧される中、次世代を担う人材の育成・確保に努める必要があります。	若者の人口流出を抑制するため、高校生を対象とした就職準備セミナー等を開催します。	・日向地区の高校へのセミナー実施の希望調査	・地元企業を講師とした高校生就職準備セミナーを開催 ・県と連携した高校生企業ガイダンスを開催
13			4 ワーク・ライフ・バランスの推進	1 ワーク・ライフ・バランスについて理解促進を図るために、商工会議所など関係機関と連携し、周知拡大に取り組みます。	商工港湾課	商工業振興事業	1,614	1,000	雇用の確保・創出を図るため、誰もが活躍できる仕事づくりを目指し、ワークライフ・バランスの推進等働く環境の整備・充実に努める必要があります。	労働者が長く働き続けられる環境を目指し、退職金共済等の加入を促進する等、企業の労働環境の改善を支援します。	・商工会議所等と連携、企業への退職金共済制度説明及び加入推進	・退職金共済制度への新規加入企業に対する補助金の交付
14		4 ワーク・ライフ・バランスの推進	1 ワーク・ライフ・バランスについて理解促進を図るために、商工会議所など関係機関と連携し、周知拡大に取り組みます。	商工港湾課	商工業振興事業	1,614	14	雇用の確保・創出を図るため、企業が行うワーク・ライフ・バランスの取組みを推進し、多様な人材が活躍できる社会づくりを目指します。	ワーク・ライフ・バランス等に取り組む優良企業を認定し、社員が生き生きと働くことができる環境づくりを推進します。	・認定を受けようとする企業からの申請受付 ・「社員が輝く！先進企業」認定委員会にて認定企業を選考	・「社員が輝く！先進企業」表彰式の開催	
15		2 強みを活かした「稼げる」産業振興プロジェクト	1 細島港の機能強化と物流の促進	1 ポートセールスや貨物集荷奨励事業、荷役効率の向上などにより競争力の強化を図ります。	商工港湾課	物流等対策事業	19,464	19,464	奨励補助金について、他港との競争力で劣ることの無い補助の在り方を検討する必要があります。	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、県内外の企業訪問を行い、新規貨物の取り込みのため、県とも連携してポートセールス活動を行うとともに、コンテナ補助等のインセンティブについても、他港の情報収集を行いながら、適宜見直しを行います。	・貨物集荷奨励補助金の周知、交付	・都内での県港湾セミナーへの参加 ・貨物集荷奨励補助金の交付 ・船舶給水料金負担金の支出
16	2 強みを活かした「稼げる」産業振興プロジェクト	1 細島港の機能強化と物流の促進	2 RORO船の貨物集荷、増便を促進します。	商工港湾課	物流等対策事業	19,464	19,464	市内企業の大型RORO船就航により、貨物量の増加が期待されましたが、コロナ禍による増加のスピードが鈍化しています。また、増便に対応する岸壁が受け入れ先である大阪府・大阪市ともに不足しているため、引き続き調整や支援が必要となります。	横須賀市や大阪府、大阪市などと連携を図り、定期航路の維持や新規航路の実現に向けた協議・検討を行います。港運事業者や関連団体と連携し、インセンティブの充実を図ることで、物流の効率化やモーダルシフトを推進します。	・貨物集荷奨励補助金の周知、交付	・関西圏でのセミナー等への参加 ・貨物集荷奨励補助金の交付	

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【商工観光部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	施策の内容	所管課	予算事業名	当初予算 (千円)	予算額のうち 該当事業費 (千円)	現状と課題	R3取組内容	R3上半期	R3下半期
17	2 活力を生み出すにぎわいづくり	2 強みを活かした「稼げる」産業振興プロジェクト	1 細島港の機能強化と物流の促進	3 細島臨海工業団地に隣接した岸壁の整備を促進します。	商工港湾課	重要港湾等整備事業	240,721	240,721	RORO岸壁や18号岸壁の事業化について、関係者との調整に十分な協議と説明が必要となります。	国、県はもとより、関係機関や地元との更なる連携を図るとともに、港湾協会等を活用し、細島港の整備と機能の充実を推進します。	・関係機関や地元等と連携し、国、県に対して令和4年度予算の要望活動に取り組みます。	・岸壁整備の事業化・早期完成に向け、更なる要望活動を行います。
18			1 細島港の機能強化と物流の促進	4 「みなとオアシスほそしま」を中心とした港湾のにぎわい創出に取り組みます。	商工港湾課	みなとオアシス推進事業	259	259	賑わい創出に向けた事業計画を策定したものの、コロナ禍により令和2年度に事業が行えないなど、事業の遅れが見られます。 また、令和2年度に九州の関係自治体による組織が結成されましたが、事業自体は行っていない状況です。	みなとオアシスほそしま協議会を中心に、県や地元団体、企業等と連携して、「細島港商業港地区の活性化に向けた将来構想」に基づく取組を推進します。 また、「みなとオアシス」九州ブロック協議会に参加し、地域間連携に取り組みます。	・事業計画の策定 ・賑わい創出事業の実施 ・全国組織総会への出席	・賑わい創出事業の実施
19				1 東九州メディカルバレー構想に基づき、地元企業の医療機器産業への新規参入を支援します。	商工港湾課	企業誘致推進事業	79,902	3,432	医療関連ビジネスは、製品開発や品質管理などにおいて新規参入のハードルが高く、難しい面があります。	東九州メディカルバレー構想に基づき、県や他市町村と連携して、医療関連ビジネスへの参入を目指す地場企業への継続的な支援に取り組んでいきます。	・宮崎県北部医療関連産業振興等協議会の事業計画の承認 ・県補助金の活用に向けた地元企業への意向調査	・県補助金活用の地元企業へのフォローアップ
20				3 再生可能エネルギー関連企業の立地に向けた研究開発や事業に対する支援を行います。	商工港湾課	企業誘致推進事業	79,902	331	マグネシウム循環社会構想推進協議会は、意見交換のみで進展があまり見られませんが、関連企業との接触機会としては貴重なものとなっています。	引き続き、マグネシウム循環社会構想推進協議会に参加し、情報収集や意見交換を行います。また、再生可能エネルギー関連企業の立地に向けた支援や各種調整を行っていきます。	【通年】 Me循環社会構想推進協議会を通じた情報収集及び細島工業団地内の民有地等への企業誘致のマッチングに取り組みます。	
21				1 食の魅力や特色あるお土産品など、様々なメディアを活用し、国内外へ向けた情報発信に取り組みます。	観光交流課	観光客誘致推進事業	9,778		これまで長年、日向の食の魅力の開発などに取り組んできましたが、市域への観光客を牽引するグルメの開発するに至っていません。	旅行先選定の大きな要素であるその土地ならではのグルメやお土産品などを、観光情報とともに広く情報発信し、市外からの誘客につなげていきます。	・日向ファン拡大プロモーション事業の展開 ・へべすや細島岩かきなど、本市の食の魅力の発信	・日向ファン拡大推進事業実施 ・SNS等を活用し食の魅力を発信
22		2 市外の観光イベントなどへ参加し、販売促進に取り組みます。	観光交流課	観光客誘致推進事業	9,778		コロナ禍にあつて、都市圏などへの往来が制限されるなか、観光物産展などの観光プロモーション事業の実施が困難となっています。	ウィズコロナ期においては、近隣自治体や隣県など、マイクロツーリズム層を意識した近場のイベント等に積極的に参加します。	・まつり宮崎グルメストリートなどに出席、広く情報発信。	・市内や近隣自治体の観光イベントや県内の道の駅集合イベントなどに参加。		

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【商工観光部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	施策の内容	所管課	予算事業名	当初予算 (千円)	予算額のうち 該当事業費 (千円)	現状と課題	R3取組内容	R3上半期	R3下半期
23	2 活力を生み出すに ぎわいづくり	3 新たな人が集まる魅力 づくりプロジェクト	1 地域資源を生かした観光交流の推進	1 差別化された観光プロモーションや「新しい生活様式」に対応した観光コンテンツの造成に取り組みます。	観光交流課	観光誘客再起事業	9,778	-	インバウンド需要が消滅し国内旅行も激減する中するなか、マイクロツーリズムや新しい生活様式に対応したコンテンツを造成する必要があります。	ウイズ・アフターコロナ期においては、「新たな生活価値観と旅のスタイル」を提案し、収束を見据えた観光客の再誘客のための事業を展開していきます。	・日向ファン拡大プロモーション事業の展開 ・新たな観光コンテンツ造成に着手	・日向ファン拡大推進事業を推進 ・観光コンテンツ造成を支援 ・SNS等を活用した情報発信
24			1 地域資源を生かした観光交流の推進	2 既存観光資源や5つの観光拠点伊勢ヶ浜門前まち、細島地区、美々津地区、東郷地区、中心市街地)を生かした周遊型観光を推進します。	観光交流課	観光客誘致推進事業	9,778	-	新型コロナウイルス感染症の収束時期も明らかでない状況にあるが、コロナ禍の中、ウイズ・アフター・コロナ期における観光施策の方針として、観光戦略を策定する必要があります。	観光関連産業のV字回復や、アフターコロナ期の旅行需要、その後のインバウンド需要の回復を見据えた新たな観光戦略を策定します。	・市内観光事業者の事業継続のための支援 ・観光戦略策定委員会を組織 ・策定に向けた情報収集等	・市内観光事業者の事業継続のための支援 ・観光戦略策定委員会の開催 ・観光データ分析
25			2 広域観光圏による観光ルートの磨き上げと観光交流の拠点づくり	1 インフラツーリズムやサイクルツーリズムなど、県や近隣市町村と連携し、効果的な広域観光事業に取り組みます。	観光交流課	広域観光ルート推進事業	1,805	1,805	誘客の多角化や観光資源の磨き上げを通じた域内連携が推進されるなか、より効果的でスピーと感のある事業を展開するために、国や県事業等を活用する必要があります。	マイクロツーリズム層をターゲットに絞り、圏域の魅力をSNSなどを活用して情報発信し、さらに新しい生活様式に対応した新たな観光コンテンツの充実に取り組みます。	・サイクルツーリズムの推進 ・域内のサイクルコースの造成 ・サイクルマップの作成	・キャンプ情報などのSNS発信 ・インフラツーリズムなどの実証事業 ・ツアーの企画、催行
26			1 サーフィンを核とした観光プロモーションを展開し、国内有数のサーフスポットとしての認知度向上に取り組みます。	観光交流課	サーフタウン日向推進事業	12,149	5,797	サーフタウン日向の情報発信に特化したホームページの運営とSNSを活用した情報発信を継続して行っています。	サーフタウン日向の情報発信に特化したホームページの運営とPR動画の配信、リアルタイムでの波情報の提供、インスタグラムを活用したサーフスポットの情報発信を発信していきます。	・サーフプロモーションPR動画の配信 ・ライブカメラによる波情報の提供 ・SNS等によるサーフスポットの情報発信	・サーフプロモーションPR動画の配信 ・ライブカメラによる波情報の提供 ・SNS等によるサーフスポットの情報発信	
27			3 リラックス・サーフタウン日向の推進	2 国内外のサーフィン大会や合宿を誘致し、地域経済の活性化に取り組みます。	観光交流課	サーフタウン日向推進事業	12,149	6,070	お倉ヶ浜ビーチハウス内に安全で安心なサーフスポットを提供する目的でサーモセンサーを設置しました。また、水難事故防止、新型コロナ感染症対策として注意喚起アナウンスや看板等を設置しました。	開催が予定されている国際サーフィン大会や国内の大会をサポート、PRしていくことでサーフスポットとしての認知度向上に取り組みます。	・医科歯科大学サーフィン大会の開催 ・サーフスポットの安全対策、巡回等	・国際サーフィン大会の開催 ・サーフスポットの安全対策、巡回等
28			3 ビーチを楽しむ環境づくりに取り組みます。	観光交流課	ビーチイベント開催事業	5,000	5,000	県内外から多くのサーファーが訪れるお倉ヶ浜では、安全で安心なサーフスポットを提供するための検温等を実施し、市民に対しても安心して旅行者を受け入れる体制を整える必要があります。	9月に予定しているビーチイベントの開催やサーフィン教室、定着しつつあるビーチアルティメット大会をサポートしていきます。また、感染状況を見ながら検温所の設置などを検討していきます。	・イベント開催に向け実行委員会の立ち上げ ・ビーチイベントの開催 ・水難防止訓練への協力 ・感染拡大状況に応じた感染症防止対策の実施	・ビーチアルティメット大会の開催 ・感染拡大状況に応じた感染症防止対策の実施	

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【商工観光部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	施策の内容	所管課	予算事業名	当初予算 (千円)	予算額のうち 該当事業費 (千円)	現状と課題	R3取組内容	R3上半期	R3下半期
29	2 活力を生み出すにぎわいづくり	3 新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	3 リラックス・サーフタウン日への推進	4 滞在型観光メニューの開発に取り組みます。	観光交流課	サーフタウン日推進事業	12,149	-	サーフィン以外の観光客を滞在させるための観光メニュー開発には至っておらず、サーフファーでなくとも楽しめる体験コンテンツの造成が必要です。	リラックスサーフタウン日向基本構想に基づき、サーフィン以外でも多様な楽しみ方ができる環境づくりに努めます。	・サーフスポットを訪れる旅行者の意識調査 ・民間事業者と連携した事業企画及び造成	・ワーケーション層をターゲットにした体験コンテンツの造成 ・民間事業者と連携した事業の履行、検証
30				5 お倉ヶ浜海水浴場駐車場の有料化に取り組みます。	観光交流課	サーフタウン日推進事業	0	0	お倉ヶ浜海水浴場駐車場の有料化を検討するにあたり、他自治体の状況を調査しました。有料化するためには駐車場に隣接する民有地への対応が大きな課題です。	駐車場に隣接する民有地の状況を調査し、各地権者の意向を確認しながら、有料化に向けて検討していきます。	・駐車場隣接民有地の調査 ・関係団体との協議	・有料化に向けての方針の決定
31			4 牧水の生誕地・東郷を生かした魅力づくり	3 新しい生活価値観や野外キャンプの需要の高まりに合わせ、地域の魅力を広く情報発信します。	観光交流課	観光客誘致推進事業	9,778	-	牧水庵の有効活用については、昨年度条例を改正し、民間への貸し出しする公募を実施しましたが、優先交渉者が辞退したことにより、再公募を余儀なくされました。再公募においても、応募者がいなかったことから、条件等の見直しを検討する必要があります。	観光拠点の魅力の一つとなりえる牧水庵貸出の公募条件等を見直し、再度公募を実施します。また、日向ファン拡大プロモーション及び推進事業により、誘客に努めます。	・牧水庵公募条件の見直し、公募開始 ・牧水公園や河川プールの魅力を発信 ・新たなキャンプ施設設置に向けた調査、研究	・キャンプサイトやコテージを、近場キャンパーや家族層などに広く情報発信 ・イベントの企画、履行
32			5 重要伝統的建造物群保存地区「美々津」を生かした魅力づくり	1 滞在型・体験型観光メニューの造成を支援し、広く情報発信します。	観光交流課	観光客誘致推進事業	9,778	-	令和2年度をもってお舟出プロジェクトは終了しましたが、引き続き、伝建地区の魅力や、お舟出の地をアピールしていく必要があります。	民宿やゲストハウス、またカフェなどの民間事業者と連携して、マイクロツーリズムやワーケーションも意識した滞在型・体験型観光コンテンツの造成をすすめます。	・事業の広報、事業提案者との調整 ・「地方型コト消費」実施企画の募集	・「地方型コト消費」実施企画の実践 ・SNSを活用した情報発信 ・事業者の自走化、収益化を支援
33			6 スポーツタウン日への推進	1 プロ野球やJリーグ、社会人、大学生などによるスポーツキャンプ、大会の誘致及び環境整備に取り組みます。	観光交流課	スポーツキャンプ活性化事業	5,978	5,978	引き続き、県や関係機関等と連携しながら、プロ野球をはじめとしたスポーツキャンプの誘致を進めていくとともに、老朽化している野球場や新たなスポーツキャンプのニーズに対応する環境の整備を図る必要があります。	プロ野球やプロサッカーチームのキャンプのほか、集客性のあるスポーツイベント等を県や関係機関と連携して誘致し、観光誘客と地域経済の活性化を目指します。	・東北楽天ゴールデンイーグルス2軍をはじめとするスポーツキャンプ誘致に向けた活動 ・キャンプ受入環境整備の調査・検討	・キャンプ実施団体等との調整 ・キャンプ受入時のサポート ・みやざきフェニックス・リーグなど集客性のあるスポーツイベント等の誘致・開催

様式1-2 総合計画に基づく重点戦略と重点プロジェクト

【商工観光部】

番号	戦略	重点プロジェクト	具体的な施策	施策の内容	所管課	予算事業名	当初予算 (千円)	予算額のうち 該当事業費 (千円)	現状と課題	R3取組内容	R3上半期	R3下半期
34	2 活力を生み出すにぎわいづくり	3 新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	8 新たな関係人口の創出	1 旅行者や全国のひよっこ踊り愛好者、各種イベント参加者のほか、ふるさと納税やワーケーションなどを通して関わりを持った方が応援してくれる、再訪してもらえる関係人口の増加に取り組みます。	観光交流課 商工港湾課	【観光】※ 繰越事業 [新型コロナ対策] 観光消費喚起事業 観光誘客再起事業 【商工】 [新型コロナ対策] ワーケーション推進事業	14,000 (繰越事業 45,000)	14,000 (繰越事業 45,000)	【観光】 アフター・コロナ社会を見据え、本市における「新たな生活価値観と旅のスタイル」を提案するなどの総合的なプロモーションを展開することで、新たな関係人口の創出と地域経済の立て直しを図る必要があります。 【商工】 令和2年度からワーケーション実証実験を行い、企業による協業の打診や報道機関からの取材対応など、大きな反響があったところです。 一方で、海岸部や市街地において、施設整備等に対し法規制により事業実施が制限されるなどの課題も浮き彫りとなったため、今後の対応が必要となります。	【観光】 日向ファン拡大プロモーション事業の成果物等を活用し、さらに推進事業により参加体験型観光イベントを実施することで、さらなる関係人口や移住者の増加を図ります。 【商工】 ワーケーション実証実験を長期的に行い、事業のニーズ調査や将来的な商業化に向けた採算性の検討を行います。	【観光】 ・日向ファン拡大プロモーションの展開 ・参加体験型観光イベント企画の公募 【商工】 新型コロナ感染症の状況を見ながら、実証実験に向けた事業者選定及び事業計画の策定、参加者の募集等を行い、実験開始の準備を行います。 実験開始後は、地元との交流や滞在中の体験プログラムの調整等、委託事業者の後方支援を行います。	【観光】 ・日向ファン拡大推進事業の実施 ・参加体験型観光イベントの実施 【商工】 上半期に引き続き、実証実験の地元調整等の後方支援を行うとともに、委託事業者と次年度以降の事業形態についての検討を行います。
35	4 自然豊かで快適な強いまちづくり	3 自然が残る美しいまちづくりプロジェクト	4 空き家の適切な管理と利活用	2 空き家・空き店舗を移住者向け住居やワーケーションなどに活用します。	商工港湾課	[新型コロナ対策] ワーケーション推進事業	14,000	14,000	ワーケーションは、あくまでも企業誘致や移住への入口なので、活用可能な施設についても、しっかりと検討を重ねる必要があります。	ワーケーション実証実験を長期的に行い、事業のニーズ調査や将来的な商業化に向けた採算性の検討を行います。	【通年】 ワーケーション参加者へ空き家情報を提供し、移住検討に向けた足掛かりとします。また、空き店舗等を利用してのワーケーションオフィスの開設に向けた取り組みを支援します。	

様式1-3 その他に取組む重点事業

【商工観光部】

番号	基本目標名称	施策名称	具体的な施策名称	所管課	予算事業名	R3当初予算(千円)	予算額のうち該当事業費(千円)	現状と課題	R3取組内容	R3上半期	R3下半期
1	3 産業振興	4 商工業の振興	① 活力ある商業の振興	商工港湾課	商工会議所等運営補助事業	12,031	12,031	市内商工業者数が減少する中、日向商工会議所及び東郷町商工会の活動を支援し、市内商工業者の経営安定、起業・事業承継の推進を図ります。	・日向商工会議所及び東郷町商工会に対し運営補助金を交付します。 ・日向商工会館の利活用を促進するため、市民交流プラザの運営に対し補助金を交付します。 ・日向商工会議所及び東郷町商工会の行う小規模事業者経営改善普及事業の実績に応じ補助金を交付します。	・各種補助金の交付	・補助対象事業の進捗及び実績の確認
2				商工港湾課	ふるさと融資事業	3,250	3,250	令和元年度末に就航したRORO船の造船に際し、ふるさと融資制度を活用し、市内事業者への無償貸し付けを行ったほか、保証料に係る補助制度を創設しました。	ふるさと融資制度を活用し、新規造船を行った市内事業者の保証料について、支援を行います。	・補助に向けた協議、連絡等	・保証料補助金の交付
3				商工港湾課	商工業振興事業	1,614	600	就業率が低下する中、市内商工業者の経営安定や勤労意欲の向上を図るため、関係団体等と各種事業の調整を行うとともに、表彰事業等を行います。	・商工施策を総合的かつ計画的に推進するため、中小企業振興会議を開催します。 ・優良従業員の表彰及び優れた技能者の認定を行います。 ・ものづくりの優れた技術の普及啓発を図るため、「技能まつり」の開催を支援します。	・中小企業振興会議を開催 ・優良従業員及び優れた技能者の選定 ・技能まつりを開催する実行委員会に対し、補助金を交付	・中小企業振興会議を開催 ・優良従業員を表彰及び優れた技能者を認定
4			② 高度な技術力を生かした工業の振興	商工港湾課	地場産業振興事業	5,413	5,413	コロナ禍によりイベント等が中止となり、地場産品を展示即売する機会が減っていることから、地場産業振興団体の活動を支援し、展示即売会等の開催を促します。また、全国唯一のはまぐり基石の産地として、基石産業の活性化と囲碁文化の普及を図ります。	・販路拡大や事業者の活力向上を図るため、日向物産振興協会及び日向市地場産業振興対策協議会の活動を支援します。 ・「国文祭・芸文祭みやざき」の一環として行われる「囲碁サミット」及び「はまぐり基石まつり」の開催を支援します。	・日向物産振興協会及び日向市地場産業振興対策協議会に対し補助金を交付 ・「囲碁サミット」及び「はまぐり基石まつり」を開催する実行委員会に対し補助金を交付	・日向物産振興協会及び日向市地場産業振興対策協議会の活動を支援 ・「囲碁サミット」及び「はまぐり基石まつり」の開催を支援
5			5 雇用の確保と創出	① 就業の場の確保と雇用の創出	商工港湾課	日向市地域雇用創造協議会に要する経費	10,164	8,500	就業率が低下する中、雇用の確保・創出を図るため、国の「地域雇用活性化推進事業」を受託する日向市地域雇用創造協議会の活動を支援します。	国の「地域雇用活性化推進事業」を受託し、委託料が振り込まれるまでの事業費の貸し付けを行います。	・事業費の一部を貸し付け

様式1-3 その他に取組む重点事業

【商工観光部】

番号	基本目標名称	施策名称	具体的な施策名称	所管課	予算事業名	R3当初予算 (千円)	予算額のうち 該当事業費 (千円)	現状と課題	R3取組内容	R3上半期	R3下半期
6	3 産業 振興	5 雇用の確保 と創出	① 就業の 場の確保と 雇用の創出	商工港 湾課	就業支援に要する 経費	856	—	雇用の確保・創出を図るため、誰もが活躍できる仕事づくりを目指し、ワークライフ・バランスの推進等働く環境の整備・充実に努める必要があります。	労働者が長く働き続けられる環境を目指し、企業の労働環境の改善を支援します。また、ワーク・ライフ・バランス等を推進し、誰もが生き生きと働くことができる環境づくりを支援します。	関係団体、関係機関等と連携した啓発活動の実施	関係団体、関係機関等と連携した啓発活動の実施

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【商工観光部】

番号	基本方針	取組項目	実施項目	部局	所管課	R3取組内容	R3上半期	R3下半期
1	市民に信頼される行政サービスの提供	広報・広聴活動の充実	市政の情報発信の充実	商工観光部	全課	市ホームページや広報誌を有効に活用し、コロナ関連施策をはじめ、商工観光各般の情報発信を行います。	広報計画の策定、広報推進員の選定を行うとともに、報道機関へ積極的な情報提供を行います。	報道機関への効果的な情報発信を行うとともに、広報推進員の研修参加を推進します。
2			市民ニーズの的確な把握	商工観光部	全課	各部局において、外部団体等を通じた情報収集を行い、市民ニーズに対応した的確な情報発信を行います。	各種総会・会議等を通じて、市民ニーズの把握に努めます。	外部団体との連携や各種アンケート等を通じた市民ニーズの把握に努めます。
3		職員の育成	災害に対する職員対応能力の強化	商工観光部	全課	地域防災計画等に基づき、各種訓練への参加を通じ、対応能力の向上に努めます。	情報伝達訓練等に参加し、防災対応向上に活かします。	台風災害等による公共施設や誘致企業施設の被害調査等を適切に行います。
4		市民に開かれた市役所づくり	窓口サービスの充実	商工観光部	全課	接遇マニュアル等を遵守するとともに、市民の目線に立った対応をすることで、窓口利用者の利便性の向上に取り組みます。	専門用語等を多用することなく、市民目線に立ったわかりやすい説明を行います。	引き続き、接遇マニュアルに則った対応を心がけます。
5		電子行政サービスの充実	商工観光部	全課	市ホームページ等を活用し、電子行政サービスの充実を図ります。	市のホームページを活用し、各種計画の掲載や申請様式のダウンロード化によるサービスの充実化を図ります。	年度中の進行管理を含め、ホームページの適切な運用を行います。	
6		情報公開と個人情報の保護	情報公開制度と個人情報保護制度の適正な運用	商工観光部	全課	個人情報保護条例等に基づき、個人情報の適切な対応に努めます。	情報公開制度や個人情報保護に係る研修参加を通じ、制度の適正な運用に努めます。	情報公開制度や個人情報保護に係る研修参加を通じ、制度の適正な運用に努めます。
7		効果的・効率的な行政経営の推進	計画的な行政経営の推進	事務事業の見直し	商工観光部	全課	事務事業評価に基づき、事業効果や費用対効果を総合的に判断し、統廃合を含めた事務事業の見直しを行います。	部局経営方針の策定や事務事業評価等の実施による事業の見直しを行います。

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【商工観光部】

番号	基本方針	取組項目	実施項目	部局	所管課	R3取組内容	R3上半期	R3下半期
8	効果的・効率的な行政経営の推進	行政運営の効率化の推進	内部統制体制の整備	商工観光部	全課	日頃の定例会等を通じ、部内の課題共有をはじめとした情報共有を図ります。	部内会議等を通じた情報伝達、リスク管理等の共有を図ります。	業務における課題等を業務マニュアルに反映し、効率化を図ります。
9			民間活力の活用	商工観光部	全課	外部団体と連携し、民間活力との協働による取り組みを推進します。	協働先との年度計画の策定を行い、効率的な事業運営を行います。	引き続き、協働先との連携を図るとともに、次年度に向けた見直し等を行います。
10			ICTの利活用	商工観光部	全課	ICT利活用による業務効率化の可能性について、調査研究を行います。	研修等を通じ、所管業務のICT化の可能性を検証します。	研修等を通じ、所管業務のICT化の可能性を検証します。
11			職員の働き方改革	商工観光部	全課	効率的な業務管理により、職員のワークライフバランスの向上に努めます。	人事評価期首面談等を通じ、職員の希望する多様な働き方のニーズ把握に努めます。	業務分担の見直しや職員の休暇取得推進により、ワークライフバランスの向上に努めます。
12	未来につなげる財政運営	適正な財政運営	第三セクターの経営健全化	商工観光部	観光交流課	(株)日向サンパーク温泉 平成26年度から赤字が続いており、債務超過となっていたため、「温泉館」の経営継続を断念し、経営改善に取り組む。また、誘客を図るため、休館中の温泉館について施設譲渡により民設民営による再開を目指すとともに大型遊具等施設整備を行う。	・大型遊具等整備工事のプロポーザル方式による業者選定・契約・詳細設計	・大型遊具等整備工事の実施 ・ドッグラン整備工事の実施
13			第三セクターの経営健全化	商工観光部	観光交流課	(株)東郷町ふるさと公社 コロナ禍により急激に落ち込んだ利用者を回復するために、老朽化した施設等の整備を行うとともに、牧水庵を民間へ貸し出すことで有効活用を図り、観光誘客などの支援を行う。	・ふるさとの家外壁改修工事の補助金交付申請及びトイレの洋式化工事の実施 ・牧水庵の民間への貸し出しについての再々公募	・ふるさとの家外壁改修工事の実施

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

【商工観光部】

番号	基本方針	取組項目	実施項目	部局	所管課	R3取組内容	R3上半期	R3下半期
14	未来につなげる財政運営	適正な財政運営	補助金等の見直し	商工観光部	全課	事務事業評価に基づく補助金の効果検証を行い、見直しを検討します。	客観的視点による事務事業評価を行い、補助金の見直しを検討します。	事務事業評価の結果を受け、見直しが必要な補助金については、次年度予算へと反映します。
15		自主財源の確保	使用料、手数料の見直し	商工観光部	全課	周辺市町村の事例等も参考にしながら、公平な使用料、手数料の見直しを検討します。	公平な使用料、手数料の徴収に向け、周辺市町村等の情報収集を行います。	周辺市町村の事例等も参考にしながら、公平な使用料、手数料の見直しを検討します。